

### 「木材保存 研究論文投稿規程」

1. 本誌への投稿は本協会会員に限る。会員以外の共著者を含むことは差し支えない。
2. 原稿は他誌に未投稿のものに限る。
3. 論文は木材保存分野の発展に貢献するものとし、実験、試験あるいは調査に関する内容を含み、さらに新規性と有用性が求められる。
4. 査読者による本誌審査要領に従った査読結果をもとに、編集委員会で掲載の可否を決定する。
5. 原稿は研究論文執筆要領に従うこととする。なお、原稿の修正を求めることがある。
6. 投稿原稿が本協会に到着した日を受付日とし、審査が終了し掲載が可と認められた日を受理日とする。なお、字句等の訂正を編集委員会で行うことがある。
7. 投稿原稿は、原則として電子投稿とし、本協会ホームページに掲載されたファイルを使用して電子メールの添付書類として下記アドレスに提出する。なお、ファイル容量は合計5MB以内とすること。
  - ・投稿用ファイルの掲載 URL  
<http://www.mokuzaihozon.org/publish/kaishi/>
  - ・電子メールの送付先  
[jwpa-4@mokuzaihozon.org](mailto:jwpa-4@mokuzaihozon.org)
8. 掲載した原稿は原則として返却しない。
9. 著作権は公益社団法人日本木材保存協会に属する。なお、最新号を除き、各号に掲載した研究論文は国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の運営する科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）においてPDF形式で公開する。J-STAGEに公開されたPDFについては、著者がその所属機関のリポジトリで公開することを認める。ただし、その際は、J-STAGEで付与されたDOIを記載し、「本文データは公益社団法人日本木材保存協会の許諾に基づきJ-STAGEから複製したものである」旨を明記することとする。
10. カラー印刷については実費を請求する。
11. 別刷を希望する場合には実費にて頒布する。
12. 投稿及び編集に関する連絡は下記宛とする。  
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-5(第3松坂ビル8F)  
 公益社団法人 日本木材保存協会  
 電話 03-3436-4486 FAX 03-3432-1971  
 電子メール [jwpa-4@mokuzaihozon.org](mailto:jwpa-4@mokuzaihozon.org)
13. 原稿送り状には、原稿発送日・著者名（日本語及びローマ字）・所属・題名・原稿枚数・別刷り希望部数・連絡先を記載する。所属・連絡先・題名の英文も記載する。

### 「木材保存 研究論文執筆要領」

1. 原稿は、ワードプロセッサ打ちとし、和文の場合は平仮名交じり横書き楷書とし、新仮名使いによるものとする。ワードプロセッサでは、和文の場合はA4版1ページあたり10.5ポイント程度で40字×28行とし、英文の場合はダブルスペースとする。
2. 原稿には英文（200語程度）ならびに和文要旨（400字程度）および5語以内のキーワード（keywords）を付する。原稿には和文ならびに英文で著者名、所属、連絡先及び題名を附する。
3. 動植物、微生物などの和文、欧語の音訳には片仮名を用いる。（例：イエシロアリ、スギ、カワラタケ、ベセル法）
4. 動植物、微生物などについては、タイトル及び本文中で最初に出てくる箇所には必ず学名を附する

こととする。学名の属、種の部分はイタリックとする。

5. 数字の記載には算用数字を用いる。範囲は次のようにして示す（例：20～30℃、ただし英文中では20-30℃）。文中に分数を示すときには、次のようにする（例：1/2）。成句と概数を示す場合は漢数字を使う。ただし、数字の前に「約」、「およそ」などがつくときや、数字の後に「未満」、「以上」などがつくときには算用数字にする（例：約10m、およそ50枚、10円未満、50以上）。
6. 単位は原則として、SI単位系を使う。
7. 図、表、写真は1件ごとに別紙とし、本文原稿欄外に挿入箇所を朱記する。図と表の重複はさける。英文をかみならず併記する。図表等は、カラム幅（7.7cm）、またはページ幅（16.4cm）で印刷されるので、縮小割合を考慮した線の太さ、文字の大きさを決める。図の番号（例：図1）、標題、注などは図の下方に記入する。
8. 表はなるべく簡潔にする。表題は表の上方に記入し、注などは下方に記入する。
9. 写真は鮮明なものとし、写真下方に写真番号（例：図1）、標題、注などを記入する。なお、研究論文においては、写真は図として扱う。
10. 引用文献は本文引用箇所の肩に1)や2,3)もしくは7-9)などのように文献番号を付け、本文末に一括して引用順に記載する。また、著者は共著者を含めて全員と雑誌名は省略しないこと。（論文誌）  
 (例1) 栗崎宏, 塚本英子, 水元克夫: 高温乾燥したスギ心材のオオウズラタケに対する耐朽性, 木材保存, **27** (2), 61-66 (2001).  
 (例2) Verhey,S.,Kaks,P.and Richter,D.: Laboratory decay resistance of woodfiber/thermoplastic composites, *MOKUZAI HOZON*, **39**, 44-49 (2013).  
 (例3) (電子ジャーナル・ウェブサイト)  
 Patricia Vega Gutierrez & S. C. Robinson: Complexity of biodegradation patterns in spalted wood and its influence on the perception of US woodturners, *European Journal of Wood and Wood Products*, <https://doi.org/10.1007/s00107-019-01488-7>, (cited 2020.1.25).  
 農林水産省大臣官房統計部: 平成30年木材統計, <https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai/>, (参照 2020.1.25).  
 (単行本)  
 (例4) 田中裕美: “木材保存学入門改訂版”, (社)日本木材保存協会編, 2001, pp.65-67. (あるいは, (社)日本木材保存協会編: “木材保存学入門改訂版”, 2001, pp.65-67.)  
 (例5) Beesley, J.: “Preservation of Timber in the Tropics”, Findley, W.P.K.ed., Martinus Nijhoff/Dr.W.Junk Publishers, Dordrecht, 1985, pp.205-231.  
 (報告書)  
 (例6) (社)日本木材保存協会: 地域材を利用した外構材開発支援事業報告書, 平成21年3月.  
 (特許)  
 (例7) 保存太郎: 特開昭61-12345 (1986).  
 (例8) 木材次郎: 特公平03-123 (1991).  
 (例9) 処理三郎: 特許第1234567.  
 (例10) Wood,P.W.: US PAT.,12340 (1986).

(2022年1月25日 改定)